



ヤツメウナギ 幼生の生態調査 及び環境保全活動

歌登ヤツメウナギ研究会

令和2年度 活動予定一覧

- ・ヤツメウナギ親魚捕獲
- ・ヤツメウナギ採卵・受精
- ・発生観察・死卵除去
- ・町内河川へ放流



活動① 孵化・放流活動

活動② 調査・研究活動



- ・ヤツメウナギ産卵状況調査
- ・河川環境調査
- ・幼生放流後の生育調査
- ・幼生の長期飼育へ向けての研究

- ・町民向けの講演会
- ・町民との幼生放流会
- ・町内学校機関への普及活動
- ・町内展示施設での活動周知



活動③ 教育・普及活動

活動① 孵化・放流活動

ヤツメウナギ親魚捕獲



- ・ 町内河川「北見幌別川」水系で採集
(5月上旬～下旬に実施)
- ・ 採集時に、性成熟の状況を確認
(※採卵・採精可能かどうかの確認)
→未成熟の場合、水槽で飼育後採卵

ヤツメウナギ採卵・受精



- ・ メス3～5個体から採卵を目標
(昨年度3個体、約20万粒を採卵)
- ・ 遺伝的多様性を保つため、
複数のオスから採精・受精

活動① 孵化・放流活動

発生観察・死卵除去



- ・ 胚発生を観察
- ・ 水温の観察
- ・ 死卵の除去
- ・ 幼生の孵化確認後
1～2週間程度飼育

町内河川へ放流



- ・ 「北見幌別川」水系に放流
(6月上旬実施予定、別途町民とも放流)
- ・ 流速のほとんどない
ワンド状の環境へ放流
(※昨年度と同場所を予定)

活動② 調査・研究活動

ヤツメウナギ産卵状況調査



- ・ 町内河川「北見幌別川」水系で
産卵床カウント調査
(採卵魚捕獲時に実施)
- ・ 産卵の日付、親魚のサイズ、
成熟具合などを記録

河川環境調査

1948年の北見幌別川

2017年の北見幌別川



蛇行が激減＝環境の単純化
→ヤツメウナギ減少の原因？

- ・ GPSを用いて、産卵床を地図に
マッピング
(※情報を蓄積し、
物理環境などの関連性を調査)
- ・ ヤツメウナギにとっての
産卵適地を考察

幼生放流後の生育調査



- ・ 幼生を放流した地点で、生育調査
(8～9月を予定)
- ・ 採集した幼生の数・サイズ計測

幼生の長期飼育へ向けての研究



- ・ 孵化させた幼生の餌、飼育環境の研究
(周年)

※より大型の個体放流を目標
(※生存率の増加が目的)

活動③ 教育・普及活動

町民向けの講演会



- ・ 年 1 回実施予定（時期未定）
（※河川保全関連の講師を予定）

町民との幼生放流会



- ・ 孵化させた一部を町民と一緒に放流
（6月上旬を予定）
- ・ 同日に、活動周知なども予定

活動③ 教育・普及活動

町内学校機関への普及活動



- ・ 町内小学校へ活動周知と
水辺の生き物についての教育普及活動
(時期未定)
- ・ 放流会の共同実施

町内展示施設での活動周知



- ・ 町内展示施設「サケの里」で生体展示
及び活動周知
- ・ ヤツメウナギのほか、
町内に生息している水辺の生き物を展示